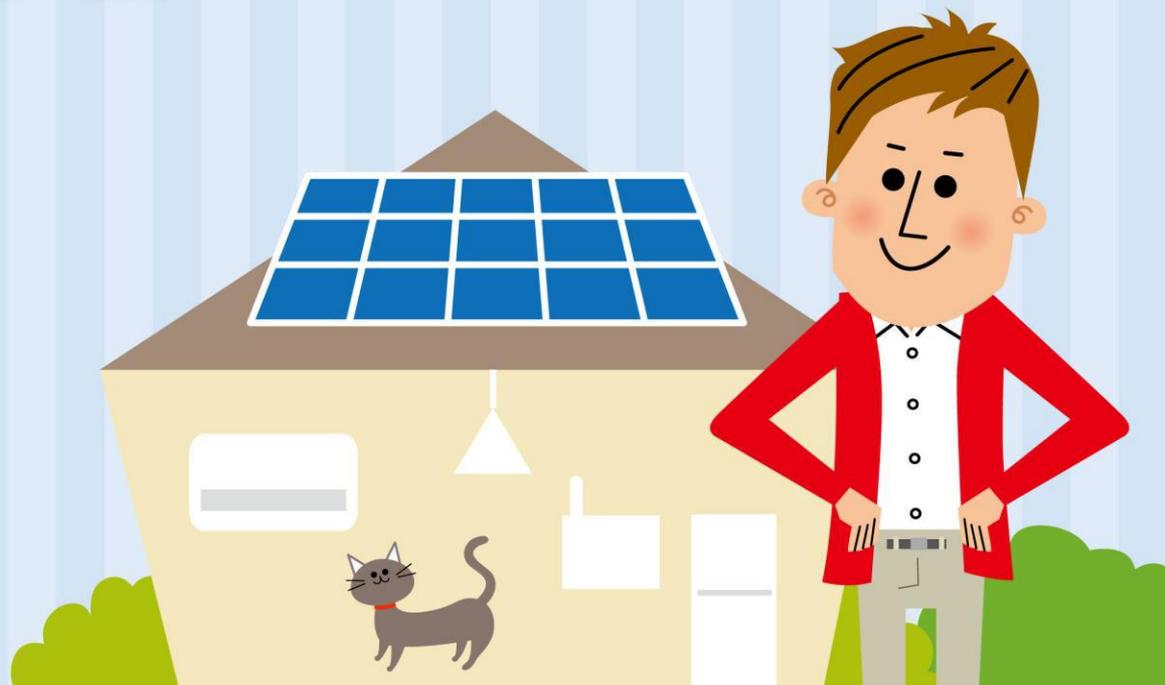
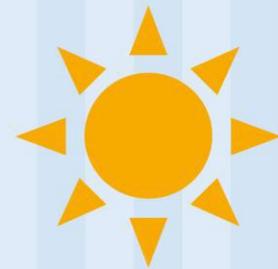


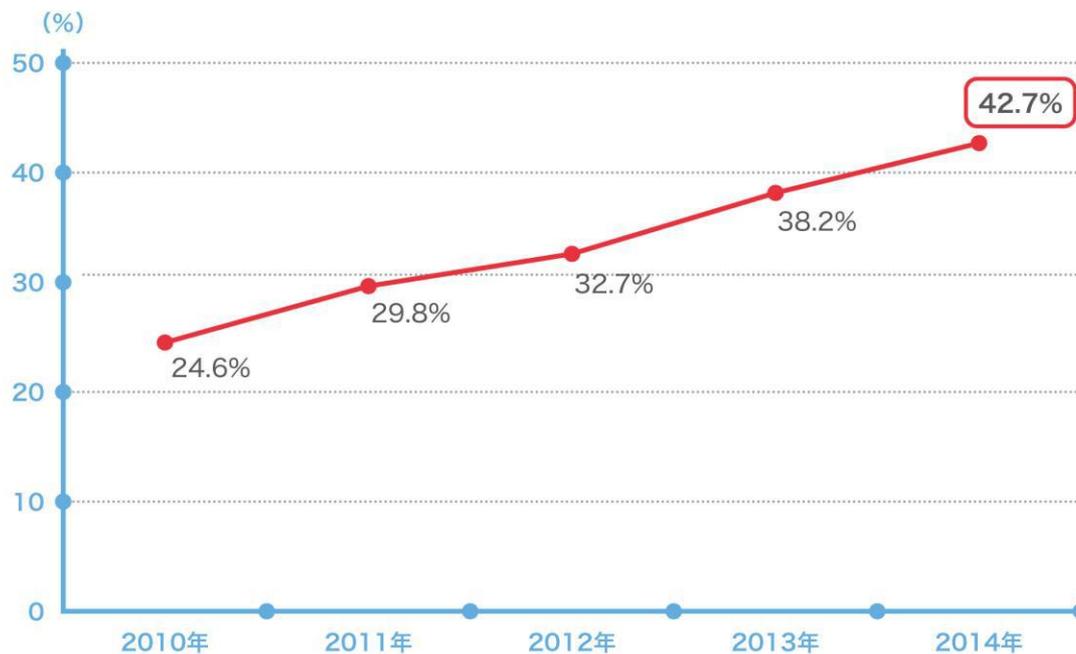
太陽光発電事情



太陽光発電の搭載率が増え続けています

搭載率は年々上昇。半数近くの方が設置しています。

【戸建新築太陽光発電装置搭載率】



出典：国土交通省



太陽光発電搭載が当たり前の時代になって参りました

せっかく発電した電気がムダに！？

太陽光発電が増えた環境で、太陽光発電による電力が、制御されるエリアが出てきました。

「出力制御」で発電した電気が無駄に!?

北海道・東北・北陸・中国・四国・九州・沖縄電力
管内が、すでに「出力制御」の対象地域
※2015年3月現在



せっかく
発電した電気を
ムダには
したくないな



「出力制御対応」って？

太陽光発電設備の出力を制御する必要がある場合、電力会社は、年間360時間またはそれを越えて出力を制御することができる仕組み

つくった電気をムダにしないために蓄電池は必須アイテムです

知っておきたい、売電金額、買電金額の推移

太陽光発電の買取価格は毎年段階的に下がってきている一方で
電力料金は年々増加を続けています。



〈経済産業省エネルギー価格動向調査及び各電力会社値上げ率などよりLRCが作成〉

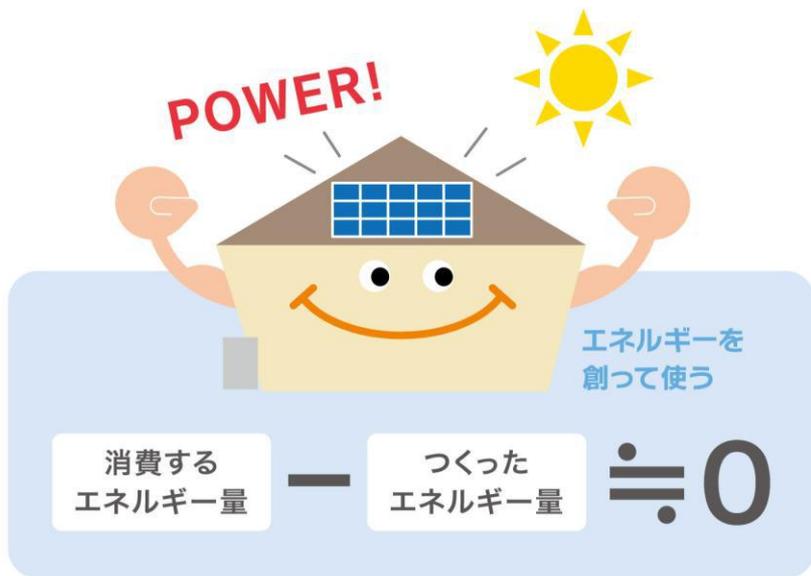
近い将来はいかに電気を買わないようにするかが、ポイントになります。

つくった電気を自宅で活用するために、蓄電池が注目されています

それでも、まだまだ拡大する太陽光発電（国の政策）

2020年

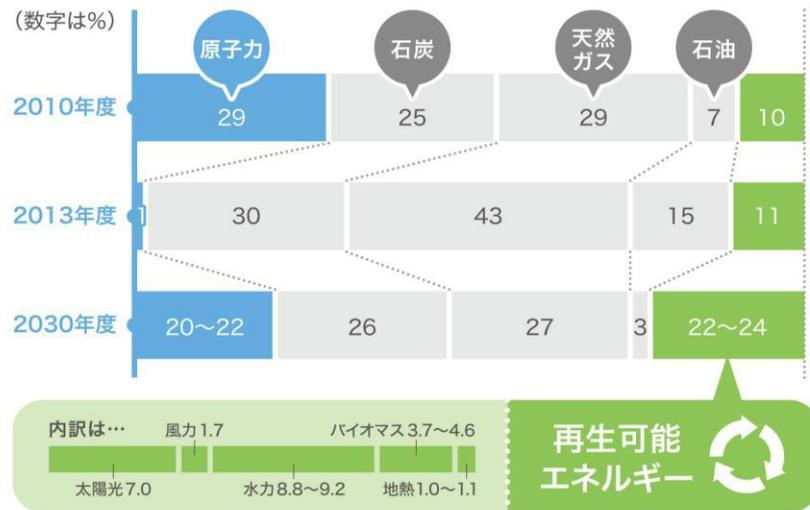
標準的な新築住宅が
ZEH住宅になるよう目標に掲げる



2030年

再生エネルギーは
現在の2倍まで拡大を目標に掲げる

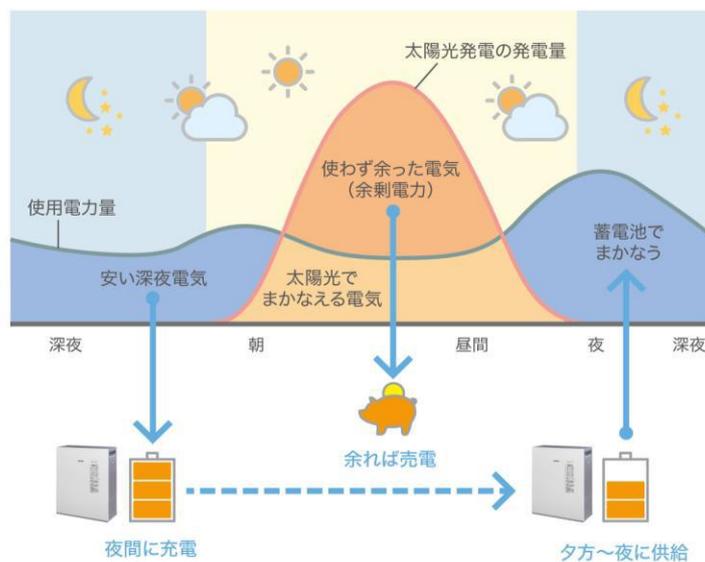
[経済産業省の2030年度の電源構成案]



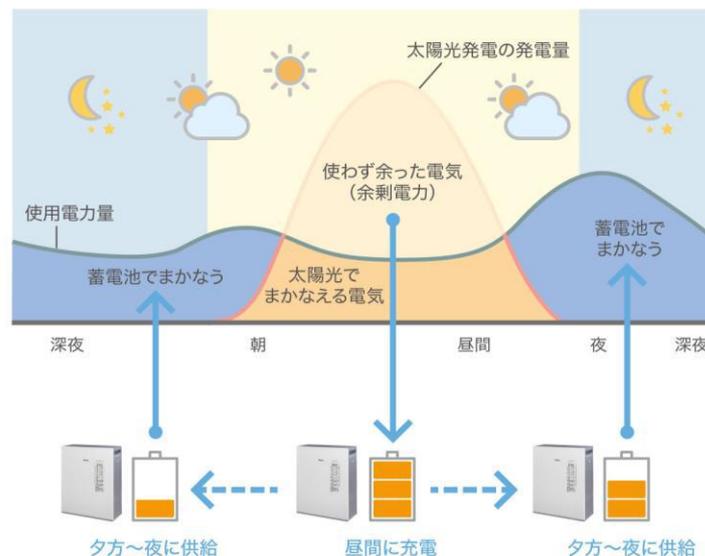
太陽光発電はこれからも拡大していく見込みです

太陽光発電の電力を有効活用する“蓄電池”

【 売った方が得な場合 】



【 自家消費の方が得な場合 】



太陽光発電+蓄電池で電力事情に柔軟に対応し
発電した電力を最大限活用できるこれからのスタンダードな組み合わせです。

太陽光発電+蓄電池をお勧めします